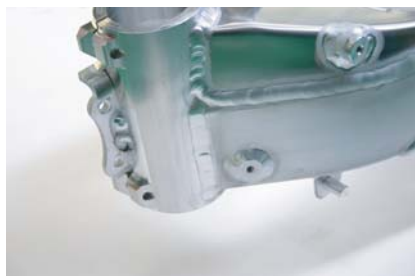


aluminium

MAIN FRAME

メイン フレーム



ヘッドパイプ

09年型フレーム最大の利点、MVCフレーム（MORIWAKI・VARIABLE・CASTOR）を量産で始めて採用。カセット式ヘッドパイプにより任意にキャスト角が変更でき、各サーキットやライダーの好みに合わせてセッティング可能。マシンの持つセッティングの方向性を広げ、幅広いライディングスタイルとサーキットに対応。

到来のツインスーパーフレームにカセット式のヘッドパイプで自分の好みに合ったキャスト角を選べる最高の一品。

キャスト角変更KIT「±0.3度・±0.5度」の2種類4パターンを用意。



ピボット

フレームの中心的存在として、当初からアルミノブロックピレット製法を採用。

08年型の開発データを元に、コーナーリング時や立ち上がりでのリアトラクションが安定するよう剛性バランスを最適化。

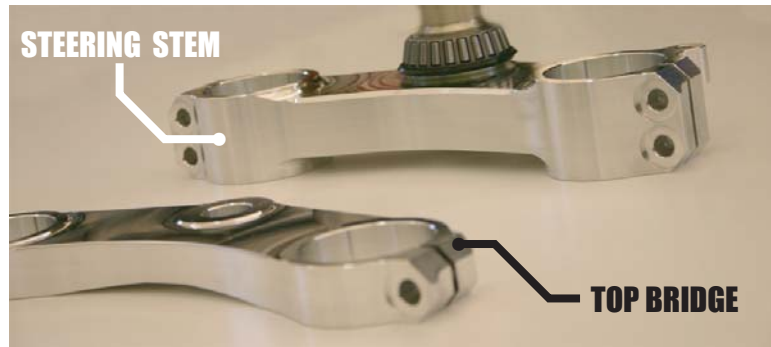
リブの形状や厚みを見直し、リアに掛かるトラクションを逃がさず路面に伝え安定した走行性能を実現。



クロスパイプ

08年型よりリアサスペンション取り付け位置を下げ、リア周りの重心バランスと剛性を変更、リンク比も見直された。

重心位置の変更・リンク比の変更・剛性UPによって、高速走行時の車体の安定性と旋回性を高次元で確保。トラクションがより掛けやすくなり、コーナー二次旋回がしやすくなった。



ステアリングシステム

以前のアルミ鋳造から軽量・剛性・精度を向上させるため、アルミモノブロックをビレット製法（削り出し）により生成。

MD250用に専用開発されたステアリングシステムは2008年度全日本チャンピオンを獲得した乃村選手の下、フィールドテストを繰り返し、モリワキフレームとの剛性バランスを最適化。ブレーキングでの安定性・コーナー進入時の操作性・コーナーリング時の旋回性を飛躍的に向上させ、よりハイレベルなサーキット走行にも対応。

08年型対応



トップブリッジ

ステアリングシステム同様アルミモノブロック ビレット製法により生成。

ビレットによりアルミ鋳造よりも軽量化と剛性を向上。トップブリッジ上辺をストレート形状にする事により剛性バランスとハンドル位置の自由度を確保。

モリワキ製ステアリングシステムと組み合わせる事でよりスタビリティな効果を発揮する。

08年型対応



カウルステー

08年型のトップブリッジに取り付けるセンタータープから、フレーム側面に取り付けるサイドツインタイプに変更し、ハンドリング・空気抵抗の軽減・視界の確保・軽量化に成功。

主にハンドリングの改善を中心に開発を進め、ステアリングはよりフリーな状態に、高速コーナーやS字コーナー等の操作性確保とサイドツインによるカウル形状のスタビリティで空気抵抗の軽減に成功。

最高速UPに貢献。

08年型不可 08年型への取り付けはモリワキファクトリーにて要加工。



ハンドルホルダー

専用設計の押し出し材を使用し、ビレット製法で仕上げ。

ハンドル垂れ角はSTDの17度と、角度違いの15度を用意。ライダーの体格やライディングスタイル等に合わせて使用。

08年型対応



ステップホルダー

アルミ鋳造からアルミノブロックビレット製法に変更。

到来の剛性をそのままに軽量化をコンセプトに開発。乃村選手・中木選手に実戦を含めフィールドテストを繰り返し、軽量かつライディングに悪影響を及ぼさないツルな形状。極限の状況で操作するライダーの感覚を損なわない為、あえてビレット部分を裏側に設定し、よりスムーズかつ繊細な操作系を実現。

08年型対応



ブレーキペダル・チェンジペダル・ステップバー

到来のアルミ鋳造からアルミノブロックビレット製法に変更。

チェンジペダルは滑動部をブッシュカー式からベアリング式に変更、ギアチェンジの操作性を飛躍的に向上させスムーズかつ正確なシフト操作が可能、ハード面でのシフト減に役立つ。

リアブレーキペダルはモリワキ製ブッシュカーを採用、タッチをよりリアルに感じ取る事が出来るようになり、旋回中やブレーキング時の操作性が向上。

ステップバーは前後左右のライダーの動きに合わせ、しっかりと受け止める3本ライン形状、表面の加工はブーツにフィットしグリップするローレットを採用。

08年型対応



スイングアーム

09年型からリアサスペンションの取り付け位置が変更、新型の09フレームに合わスイングアームのイメージを変更。

08年型不可

08年型フレームに09年型スイングアームは取り付け可。

09年型フレームに08年型スイングアームは不可。

09年型フレームに09年型スイングアームが最適。



キャブレターBOX

全日本選手権のレギュレーションに対応するためクロスドタイプに変更。

エア（空気）を効率よく取り入れるため、BOX前側にダクトを追加。低速・中速・高速全ての領域でワンランク上の伸びを実現。

また整備性を向上させるためプラグ上部に窓を設定しBOXを取り外さなくてもプラグ交換が出来るようになりました。

08年型対応

プラグ交換用窓



タンクカバー

到来のフルクロスドタイプから、タンクキャップ上にホールを設定。タンクカバーを取り外さなくても燃料を給油できるようになりました。

08年型対応